

## 第1回 東京都北区地域保健福祉計画策定委員会 議事概要

日 時：平成28年10月21日（金）午後2時00分～午後3時36分

場 所：北区役所第一庁舎4階 第二委員会室

### <次第>

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 委員紹介
- 4 委員会の設置について
- 5 委員長及び副委員長の選出
- 6 地域保健福祉計画について
- 7 個別計画の総括及び今後の取組みについて
  - (1) 北区ヘルシータウン21（第二次）
  - (2) 北区高齢者保健福祉計画
  - (3) 北区障害者計画（北区障害福祉計画）
  - (4) 北区介護保険事業計画
  - (5) 北区子ども・子育て支援計画2015
  - (6) （仮称）東京都北区子どもの貧困対策に関する支援計画
  - (7) 北区地域福祉活動計画
- 8 計画策定スケジュールについて
- 9 ワークショップについて
- 10 閉 会

### <出席者>

#### ・策定委員会委員

川村匡由委員長	碓井 亘委員	浅野正樹委員	齋藤邦彦委員
渋谷伸子委員	小宮榮次委員	加藤和宣委員	澁谷秀子委員
遠藤陽可委員	森 孝時委員	伊与部輝雄委員	浅川謙治委員
都築寿満委員	石原美千代委員	田草川昭夫委員	

#### ・事務局

菊池誠樹健康福祉課長	飯窪英一健康推進課長
岩田直子高齢福祉課長	小宮山恵美介護医療連携推進担当課長
遠藤洋子介護予防・日常生活支援担当課長	田中英行障害福祉課長
関谷幸子介護保険課長	茅根 薫生涯学習・学校地域連携課長
高木俊茂子育て施策担当課長	馬場秀和子どもの未来応援担当副参事
上水流ユキ北区社会福祉協議会事務局次長	

<会議概要>

- 1 開会（省略）
- 2 あいさつ（省略）
- 3 委員紹介（省略）
- 4 委員会の設置について（省略）
- 5 委員長及び副委員長の選出（省略）
- 6 地域保健福祉計画について（省略）

7 個別計画の総括及び今後の取組みについて

個別計画の総括及び今後の取組みについて、各課長及び北区社会福祉協議会事務局次長から説明を行い、以下の意見及び質問があった。

(1) 北区ヘルシータウン21（第二次）健康推進課長

○委員

平成30年に医療と介護の同時改定があり、国は医療と介護の形を大きく変えようとしている。区においても、それを見据えて計画を策定していかなければならない。歯科医師会は、医師会と連携して高齢者対策を行っている。そのような取組みを区にも理解してもらい、計画の中に盛り込んでほしい。

○委員

基本は教育である。食育や衛生教育の観点を計画に取り入れていただきたい。

○事務局（健康福祉課長）

地域保健福祉計画は、様々な計画を包含しながら策定していく。委員の意見・要望を計画の中で触れていきたい。

○委員

高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の策定作業が同時に行われるため、その進捗状況などもこの場で報告させていただきたい。

○委員

健康日本21（第二次）では健康格差の縮小を目標の第一にあげている。健康格差対策としては子供への教育が重要であり、自分の健康についてもしっかり確保できるような教育をしていく。北区の子どもの誰もが、そういった教養を身につけることで将来に生きてくると思う。

○委員

子どもたちの健康の状態は、医師会の協力を得ながら常に把握するよう努めているが、特に家庭の中での問題が子どもたちの健康に大きく影響している。また、全体的に体力が落ちている。きちんと対策を練っていきたい。

また、子どもの健康では、特にアレルギー対策が、今大変に重要になってきた。個別の

細かな点にも配慮していきたい。

(2) 北区高齢者保健福祉計画（高齢福祉課長）

（特に意見なし）

(3) 介護保険事業計画（介護保険課長）

○委員

高齢者にはいつまでも元気で頑張ってもらいたい。高齢者のモチベーションを生かせる社会にしていきたい。高齢者にはできるだけ声掛けをして、元気にしてあげたいという気持ちで活動している。

○委員長

高齢者の皆さんには、いつまでも支える立場にいられるよう、また、高齢者の健康と生きがいにつながるような計画にしていきたい。

(4) 北区障害者計画（北区障害福祉計画）

○委員

社会福祉の根底は教育だと思う。委員や区の実践は心強い。障害福祉について、社会全体で見えていただけると助かる。

(5) 北区子ども・子育て支援計画2015

（続いて（6）を説明後、一括して質疑）

(6)（仮称）東京都北区子どもの貧困対策に関する支援計画

○委員

地区委員会の行事は、青少年の健全育成というものが中心だった。子どもの貧困について、北区においてはそこまで悪いとは思っていない。北区は「子育てするなら北区が一番」ということで、先進的な取り組みをしている。

放課後子ども総合プランについては、指定管理者への委託又は地域で担うという考え方があり、地域で担っている例が増えてきている。北区では、すべての小学生が放課後に学校の中で安全に過ごせるよう、指定管理者や地域で安全に見守っている。

子どもの貧困対策について、これからは地域でも考えなければならない。子ども食堂など、地域として、あるいは青少年の活動の中に入れていく必要がある。

○委員長

北区における子どもの貧困率やひとり親家庭の状況はどうか。

○事務局（子どもの未来応援担当副参事）

子どもの貧困率について、区は、現在実態調査を行っており、集計している状況である。生活保護世帯、就学援助、各給付制度の支給率だけを見ると、23区の低い方から9番目から10番目くらいの率である。

○委員長

子ども食堂は、豊島区などで先進事例があり、全国的にも広まりつつある。行政からの

支援だけではない、地域から子供へのバックアップも大事であり、地域保健福祉計画にも組み込むことができればと思う。

○委員

社協で行っている、食料品を集めて提供する取組みの状況はどうか。

○事務局（北区社会福祉協議会事務局次長）

おちゃのこ祭祭にてフードドライブを試行した。集まった食料品は、生活困窮者自立支援の相談者や子ども食堂にお分けしている。社会福祉協議会では随時お米等の寄付をいただいているが、同様にお分けしている。

(7) 北区地域福祉活動計画（北区社会福祉協議会事務局次長）

○委員

町会・自治会も、社会福祉協議会と連携して行動している。町会・自治会の中でも特に取り組みが進んでいる町会は、若い人がどんどん参加している。すべての年齢層が参加できる町会運営が良い。

○委員

最近北区では集合住宅の建設が増えて子供も増えていると感じる。集合住宅の方が町会に加入されないという状況を聞く。町会の活動の重要性がもっと広まれば、街が、区がという形で賑やかさが広まっているのではないかと感じる。北区は今、人が増えてきているという意味でチャンスなのではないかと感じる。

○委員

町内会にはあまりかかわっていない。北区ではないのですが、私が住んでいたところでは、同じ方が役員を続けていて、当番で回ってきた住民の意見は通らない。町内会の意味が実感できていない。

○委員

北区に住んで5年になるが、子どもが生まれたことがきっかけで、区や地域のことに興味を持つようになった。お祭りなどで近所の人と知り合ったり、ママ友になるきっかけとなったので、地域とのかかわりの大切さを実感している。これから子供が大きくなるにつれて地域との関係が密接になってくると思うので、大切にしていきたい。

8 計画策定スケジュールについて（省略）

9 ワークショップについて（省略）

10 閉会（省略）